



景カードで自分だけのまちづくり！
魅力の高いまちを目指して、レッツビルド！



ガイドブック Ver 2.1

はじめに

Step 1: 景カードの用語解説

Step 2: カードの種類と役割

Step 3: ゲームの進め方

「景カード」とは、札幌の景観や都市計画に関する情報を基に考案されたトレーディングカードです。友達や親子でゲームを楽しみながら、景観や都市計画について考えるきっかけを作ります。



はじめに

「景観まちづくりカードゲーム☆景カード」は、自分のまちに見立てた「景カードフィールド」にルールに従ってカードを出していき、カードに書かれた数値＝MP（魅力ポイント）の合計を競う対戦型のカードゲームです。

Step1: 景カードの用語解説

景カード ⇒ゲームの基本となる「街カード」のほか、特殊効果を生じさせる「効果カード」として「法カード」や「祭カード」などがあります。

※カードの種類や使い方はStep 2へ



景カードフィールド ⇒札幌のまちに見立てたゲームフィールド（自分のまち＝自フィールド）

コストフィールド

⇒コストとして街カードをストックする場所

- ・最初は大きな☆の描かれたコストカードを並べておく。
- ・ターン毎にストックできるのは1コスト（枚）まで。
- ・カードに書かれた☆の数に関係なく1枚＝1コスト。
- ・ターン毎に消費したコストは復活する。

効果カードフィールド

⇒効果カードを置く場所

- ・通常、コストフィールド上の全て色のコストを☆の数だけ消費することで、効果カードを出すことができます。使用した効果カードはスクラップゾーンへ。

効果カードフィールド



自フィールド（街カードを建てる場所）



自フィールド

⇒街カードを建てる場所、単に「場」ともいう

- ・通常、コストフィールド上の同じ色のコストを☆の数だけ消費することで、街カードを建てることできる。

スクラップゾーン・別名「墓地」
↓使い終わったカードを置く場所

山札ゾーン
↓よく切ったカードを伏せて置く場所
・カードは1枚ずつ引く



Step 2 : カードの種類と役割

自フィールドにおくことができるカード → 「街カード」

街カード

札幌市内の建物や公園など
いろいろな場所をカードに
したものの。

住（緑）、商（赤）、工（青）
の3種（色）がある。
このカードを自分のまちに
たくさん建てて、魅力ポイント
（MP）を高めたものが勝者
となる。

街カード名

場所の名前や写真の撮影ポイントを表示

カード種別

街カードは「街」と表示されています。

街属性

住（緑）、商（赤）、工（青）
の3種（色）があります。
数字は容積率と建ぺい率を表
しています

必要コスト

通常、このカードをフィールド上に出すには、同じ街属性（色）のコストが☆の数だけ必要です。

解説・効果

・この場所の特徴を解説。また、ゲームで使用できる効果や属性もここに書かれています。

魅力ポイント（MP）

ゲームでは、フィールド上の合計ポイントを競います。

属性

属性によって、特殊効果の内容が変わります。



住カード（緑色）

自然が近くにあり、ゆったりと
住みやすい場所が多い



商カード（赤色）

街の中心部など、人が多く集まる
にぎやかな場所が多い



工カード（青色）

ものづくりの場所やみどり豊かな
場所が多い



効果カードフィールドにおくことができるカード →効果カード「法、天、祭、基、告」

様々な効果カードを使うことで、相手にいじわるをしたり、一気にMPを高めて大逆転をすることもできます。

法カード

実際のまちづくりでも、建物や公園などをつくる際には、いろいろなルールに基づいてつくられています。そのルールをそのままゲームの中でも使えるようにしたのが法カードです。

相手の街カードを建てられなくしたり、コスト消費なしで街カードを建てることができたりしちやいます。

必要コスト

通常、効果カードフィールドに効果カードを出すには、3色全てのコストが☆の数だけ必要です。



「市街化調整区域」効果説明

このカードは相手のコストストックされているカードをスクラップゾーンへ捨てさせることができます。

効果ターン数

カードの効果を適用するターン数を表示しています。カードを出した自分のターンと次の相手のターンを1回とカウントし、カウンターを表示に合わせてカードを90度ずつ回転させます。



「風致地区指定」効果説明

「公園」「緑化」の属性がある街カード以外は2ターンの間、フィールド上に建てられなくなります。



「建築許可」効果説明

☆の数のコストを消費することなく、どんな街カードも1枚建てることができます。「風致地区指定」されていても建てられます。



「市長ただし書き」効果説明

トラップカードとして、伏せた状態でフィールドに出しておきます。このカードはコストを消費しません。相手の法カード1枚分の効果を全てうち消すことができます。



祭カード

札幌は、季節に応じて様々なお祭り、イベントが催されています。それは、街の魅力が一気に高まる瞬間となります。そんな、札幌ならではの祭り、イベントをカードにしたものが「祭」カードです。

全フィールド効果

全フィールドに効果が適用される場合、その結果はそれぞれのターンの順に適用する。相手フィールドに対する効果は相手のターンに移ったときに発動する。

効果ターン数

カードの効果を適用するターン数を表しています。カードを出した自分のターンと次の相手のターンを1回とカウントし、カウンターを表示に合わせてカードを90度ずつ回転させます。



天カード

札幌は、四季の変化がとてもはっきりとした街であり、四季折々の自然の美しさや厳しさを反映し、街の魅力が変化していきます。そんな、札幌ならではの自然特性をカードにしたものが「天」カードです。ほとんどの天カードは、全フィールド（両方のフィールド）にその効果が適用されます。



基カード

まちづくりにおいて、安心して安全な暮らしはまず最初に確保されなければなりません。厳しい自然環境の中、人々の暮らしを守るため、様々な施設が札幌には備わっています。そんな、まちの基盤施設をカードにしたものが「基」カードです。天カードと合わせて使うことで、面白い効果を発揮します！。



Step 3 : ゲームの進め方

■カードデッキの構成（以下のルールに指定されたカード枚数でデッキを構成します。）

- 公式ルール : 街カード30枚、効果カード7枚使用、街カードの効果を活用する。
- 初級ルール : 街カード48枚、効果カード7枚使用、街カードの効果は適用しない。

■勝利条件 (Ver. 2.0)

・公式ルール : 自フィールド上の合計MP (魅力ポイント) が下記の所定ポイントに先に2回達した (2本先取した) ほうの勝利となる。

- Pro (20~40分) : ① 18000点 ⇒ ② 45000点 ⇒ ③ 70000点

■ゲーム開始準備

良く切ったカードを山札ゾーンに伏せて置き、手札を5枚引く、じゃんけんで先攻・後攻を決める。

■以下の手順 (ターン) を交互に繰り返しMPを加算し、合計MPが勝利条件に達したときに勝利となる。

①ドローフェーズ

山札からカードを1枚引き手札に加える。

②ビルドフェーズ

以下の行動を行うことができる。(なにもせずにターンエンドしても良い)

- ◆手札から街カードを1枚、同じ色のコストフィールドにストックする。
※ストックしたコストは直ぐに使うことができる。
- ◆手札から街カードを自フィールド上に建てる。
街カードを建てる時は、同じ色のコスト (カード1枚で1コスト) を☆の数だけ消費する。コストが不足する場合は建てられない。
ストックしているコストの分だけ何枚でも建てることできる。
- ◆手札から効果カード (法・天・祭・基・告) を全ての色のコストを☆の数だけ消費して効果カードフィールド上に出す。
トラップカードの場合は内容が見えないように伏せて置いておく。
- ◆各カードの特殊効果が発動する場合はその都度③トラップフェーズへ

③トラップフェーズ

街カード、効果カードの特殊効果を対戦相手と確認し適用する。
このとき相手のトラップカード等による反撃があればその効果も適用する。
無ければトラップフェーズを終了し②又は④へ。
相手のターン時は自分のトラップカード等の効果を必要に応じ適用する。

④ターンエンド

ターン終了後の魅力ポイントを集計する。
※このターンで消費したコストはすべて回復する。
(スクラップゾーンに捨てたコストは回復できない。)



好きです。さっぽろ（個人的に。）は、

市民ひとり一人の個人的に好きな風景や

大切な場所を集めて、

新しい価値を創る取組です。